

	静岡大学 理学分野
学部等の教育研究 組織の名称	理学部（第1年次:215） 大学院理学研究科（M:70） 大学院自然科学系教育部（D:50）
沿 革	大正11（1922）年 静岡高等学校創立 昭和24（1949）年 新制静岡大学文理学部設置 昭和40（1965）年 理学部設置（改組） 昭和51（1976）年 大学院理学研究科修士課程設置 平成8（1996）年 大学院理工学研究科博士前期課程・博士後期課程設置 （理学研究科は学生募集を停止） 平成18（2006）年 大学院理学研究科修士課程設置 平成18（2006）年 大学院自然科学系教育部博士課程設置 （理工学研究科は学生募集を停止）
設置目的等	<p>大正11年、静岡大学文理学部の母体である静岡高等学校は、高等教育機関の拡張を目的として設置された。</p> <p>新制国立大学の発足時には、静岡高等学校は、静岡大学文理学部として承継された。</p> <p>昭和40年、教育・研究の一層の充実・発展を図ることを目的に、文理学部を改組し、人文学部及び理学部が設置された。</p> <p>昭和51年、数学及び自然科学の基礎的分野における社会の複雑な進歩に柔軟に対処できる研究能力と幅広い基礎的な学識とを身につけた高度の技術者及び教育者を養成する目的から、理学研究科修士課程が設置された。</p> <p>平成8年、理学分野の深遠かつ広範囲にわたる科学の法則・原理と工学分野の精密かつ高度な先端技術を融合し、先駆的で豊かな発想を誘出させ、学際的で高度な教育と研究を行い、将来の課題に対処し得る人材を育成することを目的に、理学研究科修士課程及び理工学研究科修士課程を改組し、理工学研究科博士課程（博士前期課程・博士後期課程）が設置された。</p> <p>平成18年、時代に即応した幅広い素養と特化した専門知識及び国際性豊かな知識を有する先端技術者及び研究者の養成を目的として、電子科学研究科博士課程（後期3年のみの課程）及び理工学研究科博士後期課程を改組し、自然科学系教育部博士課程（後期3年のみの課程）</p>

	<p>が設置された。</p> <p>平成18年、理工学研究科博士後期課程を自然科学系教育部に再編したことに伴う理工学研究科博士前期課程の改組により、理学研究科修士課程が設置された。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>静岡大学は、科学的真理を知的好奇心から探求し、その基礎概念の創出と確立を進め、更に環境保全や最先端科学技術等の応用分野に基礎的情報をもたらすとともに、次の時代の科学・技術及びその教育を担う人材の育成を通じて人類社会の発展や文化の進展に貢献することを目指し、教育、研究、社会貢献に取り組んできたところであり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 真理を探究する理学の精神を身につけ、基礎科学の各分野における深い学識とそれに基づいた問題解決能力、更にコミュニケーション能力と国際感覚を備え、グローバルな観点からリーダーシップを發揮できる高度な専門人材の育成の役割を果たす。 <ul style="list-style-type: none"> <li>環境・エネルギー、バイオサイエンスなどの専門領域に関する深い知識と時代に対応した幅広い素養を有し、地域社会や国際社会の期待に応えられる高度先端技術者及び研究者の人材育成の役割を充実する。</li> </ul> </li> <li>○ 学生の多様なニーズ・社会の要請等に応え得るユニークな学部・研究科横断等の教育や大学間連携教育による複眼的な視野を養う特色ある教育改革、アジアの生態系保全に関するリーダー育成プログラムでの実績を生かし、グローバルに活躍できる人材を育成する学部・大学院教育を目指して改善充実を図る。</li> <li>○ 放射性核種や安定同位体の原子核化学に関する特徴ある研究や化学分野における新規機能性物質創成・物性解明、生物科学分野における生物の環境応答、地球科学分野における地殻・マントル変動に関する高い水準の研究をはじめ、理学の諸分野の研究を推進し、我が国における理学の発展に寄与する。</li> <li>○ 静岡県内を中心とした企業・自治体等との環境技術などに関連する産官学連携の実施、自治体等審議会における委員活動による専門的知識の提供・提案、市民のための基礎科学講座（サイエンス・カフェ in 静岡等）の開催など、地域に貢献してきたこれまでの実績を生かし、産業振興や地域振興に貢献する。</li> <li>○ 社会人教育は大学院への受け入れ、「ふじのくに防災フェロー養</li> </ul>

	<p>成講座」の実績を生かし、地域の特性、産業界のニーズに対応した人材養成のための学び直しを推進する。</p> <p>○ 未来の科学者養成講座など、静岡県内における小中高生の理数教育の支援を推進してきたこれまでの実績を生かし、未来の科学技術を担う人材の育成に寄与する。</p>
--	--

# ミッションの再定義(理学)

## 振興の観点

企業と連携した実践的な専門教育のプログラムや、教育界や教育学分野と連携した高等学校等の理数系教員を志望する学生向けのプログラムの構築など、社会での活躍を意識した教育の機能強化を図るほか、組織的なコースワークと研究指導によって、幅広い視野を有する研究者養成の機能強化を図るべく、大学院を中心に教育研究組織の再編・整備を推進する。

## 各大学の特色・強みを活かした機能強化の例

### 国立大学法人

- (例)
- 北海道大学** 化学、材料科学分野について世界トップクラスの実績
  - 弘前大学** 材料科学/気象学/宇宙物理学
  - 東北大学** 化学、物理学、環境・地球科学、基礎生命科学分野について世界トップクラスの実績
  - 山形大学** 基礎物理学/機能物質化学
  - 茨城大学** 原子科学分野/宇宙観測/深海掘削
  - 筑波大学** 物理学分野について世界トップクラスの実績
  - 埼玉大学** 基礎生命科学/トポロジー分野/宇宙物理学
  - 千葉大学** 化学、物理学、基礎生命科学分野について世界トップクラスに準ずる実績
  - 東京大学** 化学、材料科学、物理学、環境・地球科学、基礎生命科学、計算機科学・数学分野について世界トップクラスの実績
  - 東京工業大学** 化学、材料科学、物理学分野について世界トップクラスの実績
  - お茶の水女子大学** 理論物理学/有機合成化学
  - 新潟大学** 物理学分野について世界トップクラスに準ずる実績
  - 富山大学** 立山から富山湾までの高低差の自然を生かした研究
  - 金沢大学** ナノバイオ/地球環境科学/宇宙物理学
  - 信州大学** 基礎数学/高エネルギー物理学/物理化学/山岳科学
  - 静岡大学** 原子核化学/生物の環境応答/地殻・マントル変動
  - 名古屋大学** 化学、物理学分野について世界トップクラスの実績
  - 京都大学** 化学、材料科学、物理学、基礎生命科学、計算機科学・数学分野について世界トップクラスの実績
  - 大阪大学** 化学、材料科学、物理学、基礎生命科学分野について世界トップクラスの実績
  - 神戸大学** 化学、物理学、基礎生命科学分野について世界トップクラスに準ずる実績
  - 奈良女子大学** 基礎物理学/分子科学/基礎生物学/高エネルギー物理学
  - 島根大学** 解析学を中心とした数理科学分野/先端的地球科学分野/環境化学
  - 岡山大学** 物理学、基礎生命科学分野について世界トップクラスに準ずる実績
  - 広島大学** 物理学分野について世界トップクラスの実績

## 教育

○自然界の真理の探究に必要な科学的思考、方法論、実験技術等を身につけさせることを重視して教育に取り組んでおり、研究者、技術者、理科や数学の教員といった専門職を中心に人材を輩出。

○工学や医学等の他分野や、企業等と連携した指導体制の構築、教育委員会等と連携した理科教員養成プログラムの実施など、社会での活躍を意識した教育が進展。

## 研究

○大規模大学を中心に研究の量・質ともに世界的に存在感を示しているが、これら以外の大学にあっても個々の分野で高い実績を有している。

○また、大学周辺の自然(火山や亜熱帯等)を生かした特色ある研究も進められている。

## 産業振興・地域貢献

○実験・実習施設の他機関等への開放、スーパーサイエンスハイスクールなど地域の理数教育への協力、講演会・フェスティバル等による科学の広報、ジオパーク活動など地域への知的支援などに積極的に取り組まれている。

- 山口大学** 細胞内共生の研究/宇宙や惑星の物質大循環の解明
- 愛媛大学** 環境・地球科学分野について世界トップクラスに準ずる実績
- 高知大学** 環境・地球科学分野/基礎理学
- 九州大学** 化学、材料科学分野について世界トップクラスの実績
- 佐賀大学** 素粒子物理学/革新的機能材料/ナノ材料
- 熊本大学** 基礎生命科学/化学分野
- 鹿児島大学** 天文・宇宙/生物多様性/地震・火山
- 琉球大学** 「亜熱帯」、「島嶼」、「海洋」/水産学分野
- 総合研究大学院大学** 大学共同利用機関法人と関係する大学院大学として多くの研究者を輩出
- 奈良先端科学技術大学院大学** 情報科学/バイオサイエンス/物質創成科学

### 大学共同利用機関法人

当該分野の中核拠点として、大規模な施設・設備等を提供し、全国の大学の研究者との共同利用・共同研究を実施。更に大学の教育にも貢献。

- 自然科学研究機構** 天文学、物質科学、エネルギー科学、生命科学その他の自然科学に関する研究
- 高エネルギー加速器研究機構** 高エネルギー加速器による素粒子、原子核並びに物質の構造及び機能に関する研究並びに高エネルギー加速器の性能の向上を図るための研究
- 情報・システム研究機構** 情報に関する科学の総合研究並びに当該研究を活用した自然及び社会における諸現象等の体系的な解明に関する研究

※本資料は、各大学の強みや特色等の一部であり、これらを生かした人材育成や研究推進等の機能強化が考えられることを例として示したものである。詳細は各大学のミッション再定義に示されている。

※「研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング2011」に基づき、研究論文の量・質両面から「トップクラスにある大学」、「トップクラスに準ずる大学」と表記したが、各大学では個々に世界的にインパクトの高い研究成果や地域特性に基づく実績を有している。

※赤字の大学は、博士の人材育成機能の役割が比較的高い大学(年間おおむね50名以上の学位を授与)を示している。(ただし、いずれの大学も学士、修士段階で輩出する学生が多数であり、これらの大学が博士の育成機能にのみ注力すべきことを示す意図ではない。)